

© UN Photo/Loey Felipe



© UN Photo/Jean Marc Ferré

上智大学 国際協力人材育成センター

Sophia University Human Resources Center for International Cooperation

SHRIC

年次活動報告書 2022



2022年度年次活動報告書の刊行にあたって

センター所長 植木 安弘

(上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授)

上智大学国際協力人材育成センター (SHRIC) は、2015年7月の創設より、国際協力の分野で活躍できるグローバル人材の育成を目標とし精力的な活動を続けてきています。センターの活動は、本学の学生のみならず、社会人、他大学、高校にいたる幅広い方々の参加があります。

2022年度はコロナ禍には注意しつつも、オンライン、ハイフレックス、対面と柔軟にイベントを実施しました。公開講座は、引き続きオンラインにて開講。多様な実施方法により、イベントや講座では、東京近郊以遠の地域や海外からも多くの方に参加いただきました。

本学恒例「アフリカWeeks」(5月)や「国連Weeks」(6月・10月)は、主にオンラインにて開催され、当センターもウクライナ戦争、軍縮や気候変動に関するパリ協定関連など多岐にわたるイベントを企画、サポートしました。「国連Weeks」では、「国際機関・国際協力キャリア・ワークショップ」を本センターのアドバイザー・ネットワーク・メンバーの参加により、合計3セッション開催しました。国際機関セミナーシリーズは計4回行われ、欧州復興開発銀行 (EBRD) 第一副総裁、国連開発計画 (UNDP) アフガニスタン常駐代表、国連ボランティア計画 (UNV) 事務局次長などハイレベルな参加があり、大変好評なセミナーとなっています。さらに、「国連職員と話そう!」企画を計2回実施しました。

また、当センター主催の公開講座、国際公務員養成コースと同英語コース (春期・秋期)、バンコク国際機関実務者養成コース (秋期) も全てオンラインにて開講しました。例年夏期にニューヨークで開講する「実務型国連集中研修」は今年度もオンラインで実施し、ニューヨークの国連事務局やUNDP、ユニセフ、国連人口基金 (UNFPA) の人事担当官や現役の職員などが講義を行いました。これらすべての講座を合わせて日本国内、海外から100名を超える受講者がありました。公開講座の受講者の中からは、国連事務局や国連専門機関のポストに就いた人がこれまで10名程出ています。

センターの出版事業「国際協力・国際機関人材育成シリーズ」第6弾は、「国際公務員とキャリア戦略」—元国連人事官が明かす魅力と成功へのカギ—と題し、国際公務員養成コース講師の茶木久実子氏 (元国連人事官) と玉内みちる氏 (元ユニセフ人事官) 共著にて刊行しました。キャリア戦略や採用側からの視点がハイライトされています。

コロナ禍、紛争や自然災害などの影響がさまざまな分野に及んでいます。国際協力の必要性はこれまで以上に高く、国際協力分野で活躍できる人材育成が急務です。当センターでは、グローバル人材の育成を通じてさらに国際社会に貢献できるように尽力しています。

国際協力人材育成センター所員

(2023年3月現在)

- センター所長 植木 安弘 (大学院グローバル・スタディーズ研究科教授)
- センター副所長 東 大作 (グローバル教育センター教授)
- 所員 曄道 佳明 (学長、理工学部教授)
- 小松 太郎 (総合人間科学部教授)
- 廣里 恭史 (グローバル教育センター教授、Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd. 代表取締役)
- *Sophia GED: 上智学院がバンコクに設立した教育研修事業会社
- まくどなると あん (大学院地球環境学研究科教授)
- 丸山 英樹 (総合グローバル学部教授)
- 鈴木 政史 (大学院地球環境学研究科教授)
- 皆川 友香 (国際教養学部准教授)
- 山崎 瑛莉 (グローバル教育センター講師)
- 客員所員 浦元 義照 (GR Japan シニアコンサルタント、元ILO事務局次長補 アジア太平洋地域総局長)
- 柴田 晋吾 (大学院地球環境学研究科客員教授)

2022年度の活動

シンポジウム・講演会

国連Weeks

(国連広報センター 後援)

国連アカデミックインパクトの参加大学である本学は、「国連の活動を通じて、世界と私たちの未来について一緒に考える」をコンセプトに、2016年度以降はSDGs関連も含め、さまざまな企画を実施しております。国際協力人材育成センターもこれまで数多くの国際シンポジウム、講演会、キャリアセミナーなど企画し実施しています。これらの企画は本学学生だけではなく、広く一般にも公開しており、毎回、高校生をはじめ一般の方にも多数ご参加いただいています。

—国連Weeks 6月— オンラインにて開催

6月6日 シンポジウム

人間の安全保障：日本の評価とグローバルな展望

(上智大学 主催、国際協力人材育成センター、人間の安全保障研究所 共催)
すべての人の命、生活、尊厳をまもる「人間の安全保障」を実現する社会のために、日本の状況やグローバルな視点から専門家の意見をうかがい、また、国連開発計画 (UNDP) が発表した人間の安全保障に関する新たな報告書におけるデータと分析を交えて専門家とともに議論しました。

6月8日 シンポジウム

ウクライナ紛争と国連憲章に基づく国際秩序の将来

(上智大学 主催、国際協力人材育成センター、国際関係研究所 共催)
ロシアのウクライナ軍事侵攻が国際平和と安全保障への脅威となる中、国連憲章に基づいた国際秩序に与える影響と将来を、ロシア、ウクライナ、国連の専門家とともに考える機会となりました。

—国連Weeks 10月— オンラインにて開催

10月11日 シンポジウム

経済制裁のインパクト：EUと国連

(上智大学 主催、国際協力人材育成センター 共催)
国連憲章第7章でも認められている経済制裁の効果についてはさまざまな評価がある中、EUや他の西側諸国による対ロシア経済制裁の効果や国連による経済制裁の効果について、EUの専門家や学識経験者とともに考えました。

10月18日 シンポジウム

パリ協定達成に向けた脱炭素への取り組みとSDGsのインターリンケージ：
グローバル・ローカルなイニシアティブ

(上智大学、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ) 主催、国際連合大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)、地球環境パートナーシッププラザ (GEOC) 協力)
社会、経済、環境問題を包括的に捉えたSDGsの課題と脱炭素を目指すパリ協定の課題の関係性と海外・国内の取り組みについて議論しました。

10月24日 (国連デー) シンポジウム

軍拡時代の軍縮への課題：国連と日本の役割

(上智大学 主催、国際協力人材育成センター 共催)
10月24日国連デーを迎え、国際平和の実現と安全維持のため、軍縮の必要性やその課題と国際社会、国連や日本の役割について軍縮の専門家とともに考えました。



6月8日 シンポジウム



10月24日 シンポジウム

キャリアイベント

キャリア・セッション「国際機関・国際協力キャリア・ワークショップ」 オンラインにて開催

国際機関や国際協力分野におけるさまざまなフィールドの第一線で活躍されている本センターのアドバイザー・ネットワークの方々をゲストに迎え、キャリア・セッションを国連Weeks期間中にオンラインで開催しました。(所属機関名および役職名は開催日現在のもの)

春の国連Weeks

《6月15日》

基調講演：

「格差と夢」：恐怖、欠乏からの解放、尊厳を持って生きる自由 国際機関の役割

浦元 義照 氏

元上智大学特任教授、国際協力人材育成センター客員所員 (元UNICEF、UNIDO、ILO職員)

セッション 1：

浦元 義照 氏

山下 邦明 氏 (元国連教育科学文化機関 (UNESCO) 職員、元日本学術振興会バンコク研究連絡センター長)

佐藤 摩利子 氏 (国連人口基金 (UNFPA) 駐日事務所長)

(モデレーター) 植木 安弘 教授 (上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科、国際協力人材育成センター所長)

《6月16日》

セッション 2：

村上 由美子 氏 (MPower Partners ゼネラル・パートナー、元経済協力開発機構 (OECD) 東京センター所長)

森 秀樹 氏 (世界銀行南アジア地域総局 インド担当局長代行)

花尻 卓 氏 (アフリカ開発銀行 (AfDB) アジア代表事務所長)

(モデレーター) 山崎 瑛莉 講師 (上智大学グローバル教育センター、国際協力人材育成センター所員)



秋の国連Weeks

〈10月18日〉

- 日比 絵里子 氏 (国連食糧農業機関 (FAO) 駐日連絡事務所所長)
 山下 真理 氏 (国連事務総長代表 兼 国連コンボ暫定統治機構セルビア・ベオグラード事務所長)
 隈元 美穂子 氏 (国連訓練調査研究所 (UNITAR) 持続可能な繁栄局長 兼 広島事務所長)
 高梨 寿 氏 (一般社団法人海外コンサルタンツ協会 (ECFA) 前専務理事、元国連工業開発機関 (UNIDO) 工業開発官)
 (モデレーター) 植木 安弘 教授 (上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科、国際協力人材育成センター所長)



国際機関セミナーシリーズ

さまざまな国際機関と共同で、各機関をより身近に感じ理解してもらうことを目的にキャリアセミナーを企画しています。

〈2022年〉

- 第33回 4月 18日 赤十字国際委員会 (ICRC) キャリアセミナー **オンラインにて開催**
 第34回 6月 17日 欧州復興開発銀行 (EBRD) キャリアセミナー **ハイフレックスにて開催**
 第35回 9月 28日 ※諸事情により中止
 第36回 10月 17日 国連開発計画 (UNDP)・国連ボランティア計画 (UNV) キャリアセミナー **10月の国連Weeksにオンラインにて開催**
 第37回 11月 28日 緑の気候基金 (GCF) キャリアセミナー **対面にて開催**

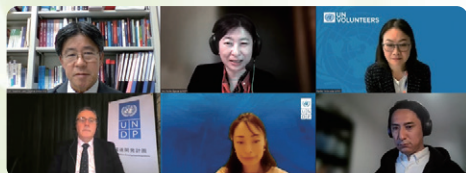


4月開催 赤十字国際委員会 (ICRC) キャリアセミナー
 (上段左より) Kunanon Tanyasatheanwong (Pao) 氏、植木教授 (上智大学)、岡大策氏
 (下段左より) 富田麻美子氏、淡路愛氏



Photo by EBRD

6月開催 欧州復興開発銀行 (EBRD) キャリアセミナー
 ユルゲン・リグテリンク第一副総裁



10月開催 国連開発計画 (UNDP)・国連ボランティア計画 (UNV) キャリアセミナー (国連Weeks)
 (上段左より) 植木教授 (上智大学)、江草恵子氏 (UNDP)、横須賀恭子氏 (UNV)
 (下段左より) アブダラ・アル・ダリダリ氏、近藤千華氏、桑田弘史氏 (UNDP)



11月開催 緑の気候基金 (GCF) キャリアセミナー
 ホン・トゥイ・パターソン氏 (GCF CFO兼COO)

「国連職員と話そう！」

好評企画の「国連職員と話そう！」は、オンラインとハイフレックスにて計2回開催しました。国際公務員への道は皆それぞれ。学生時代、キャリア形成、実際の業務内容などについて貴重なお話やアドバイスをいただきました。また、セミナー開催前よりご質問をいただき、皆さまに活発に参加いただける場となりました。(いずれもモデレーターは、植木所長が務めました。)

2022年5月：市川 小百合 氏 / 国際連合日本政府代表部一等書記官

(本学卒業生で、国際協力機構 (JICA) より出向の現職の外務省職員として、ご自身のキャリアに加え、外から見た国連機関との関わりなどについても貴重なお話をいただきました。)

11月：スティーブ・ウッターウルク氏 / 国連開発計画 (UNDP) パブリック・パートナーシップ部長

(UNDPでの実際の業務やキャリアなどについて有益なお話をいただきました。)



5月開催 市川氏 (米国より参加)



Photo by UNDP

11月開催 ウッターウルク氏

公開講座

国際公務員養成コース 春期 秋期 オンラインにて実施

「国際公務員養成コース」と「国際公務員養成英語コース」は開設以来6年目となります。昨年度に続き本年度も、オンラインにて各12セッションを平日の夜間と土曜日を利用して行い、日本国内外より、多くの社会人や学生に参加いただきました。センター所長の植木安弘教授がコーディネーターを務め、養成コースは、元国連事務局、ユニセフ、世銀などで人事官を務められた方々、外務省の国際機関人事センター室長などが講師を務め、英語コースは、国連事務局で長年勤務し、英国で英語教員の資格を持つアン＝マリー・アイバネス先生にお願いしています。なお、例年8月にニューヨークの国連本部で開催される「実務型国連集中研修プログラム」は、今年もオンラインでニューヨークとつなぎ、5日間のプログラムを実施しました。

バンコク国際機関実務者養成コース 秋期 オンラインにて実施



本講座は、当センターと本学がバンコクに設立した教育研修事業会社Sophia Global Education & Discovery Co., Ltd. (Sophia GED)との共同で2020年度秋期に開講しました。3年目となる今回は、「社会開発分野」に焦点を当て、平日の夜間週2回、計10回行われました。国際機関は、2030年までのSDGs達成への取り組みを強化しており、中でも教育・訓練、保健・衛生（感染症対策）、労働問題、移民問題、ジェンダー、社会インフラ整備、等の社会開発分野は、2030年以降も継続的な取り組みが必要とされる分野であり、高度な専門性を持つ実務者の養成が望まれています。社会開発分野の国際機関を中心に、現役・元職員講師による講義は、それぞれの国際機関が取り組む課題のみならず、実務的な知識・スキルとキャリア形成にかかる各講師の実体験を踏まえた臨場感に溢れた内容となり、毎回活発な議論が交わされました。

緊急人道支援講座 2022年度休講。2023年度春期より再開

2019年開講の本講座は、緊急人道支援に取り組むための基礎的知識やスキルを身に付け、その後のキャリアに生かしてもらうことを目的としています。

出版事業

最新刊



【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.6】

「国際公務員とキャリア戦略」

—元国連人事官が明かす魅力と成功へのカギー:グローバルキャリアのすすめ

2023年4月発行

著者: 茶木久実子

元国連人事官

: 玉内みちる

元ユニセフ人事官

発売所: 丸善出版株式会社

【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.3】

国際緊急人道支援のキャリアと仕事

一人の命と生活を守るためにー:グローバルキャリアのすすめ

2020年4月発行

著者: 国連機関、国際協力機関、国際協力NGOなどから13名が執筆

小松 太郎 上智大学総合人間科学部教授

(グローバル教育センター長/国際協力人材育成センター所員) が編集

発売所: 丸善出版株式会社

【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.4】

格差と夢 一恐怖、欠乏からの解放、尊厳を持って生きる自由

国連の開発現場で体験したことー:グローバルキャリアのすすめ

2021年4月発行

著者: 浦元 義照

: 上智大学特任教授 国際協力人材育成センター所員、元UNICEF、UNIDO、ILO職員

発売所: 丸善出版株式会社

【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.5】

「心の中に平和のとおりでを築く」に魅せられて

ーユネスコを通して出会った人々との軌跡50年ー:グローバルキャリアのすすめ

2022年4月発行

著者: 山下 邦明

: 上智大学国際協力人材育成センター客員所員/

元国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) 職員

発売所: 丸善出版株式会社



【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.1】

世界銀行ダイアリーー:グローバルキャリアのすすめ

2018年4月発行

著者: 鈴木 博明

: 上智大学国際協力人材育成センター客員所員/元世界銀行主席都市専門官

発売所: 丸善出版株式会社

【国際協力・国際機関人材育成シリーズNo.2】

歴史に生きる 一 国連広報官の軌跡ー:グローバルキャリアのすすめ

2019年1月発行

著者: 植木 安弘

: 上智大学総合グローバル学部教授

国際協力人材育成センター所長/元国連広報官

発売所: 丸善出版株式会社

上智大学 <https://www.sophia.ac.jp>

国際協力人材育成センター

<https://dept.sophia.ac.jp/is/shric/>

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 2号館1F

Tel: 03-3238-4687

Email: hrc-ic-co@sophia.ac.jp



(シェア) SHRIC Facebook

<https://www.facebook.com/SophiaHRIC/>



(シェア) SHRIC Twitter
@SHRIC2015



(シェア) SHRIC Instagram
@shric_sophia

